



45022-XNRC-K100

SPORTS BRAKE PAD TYPE-COMPETITION(FRONT)

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

重要事項

『ブレーキパッド・ブレーキローター間における貼り付き』に関して

1. 本製品は制動力を高める事を目的に鉄分の含有量が多い材質を使用しています。
2. ブレーキを濡れた状態で長時間放置しておくと、鉄分が酸化する事によりブレーキローターとの間で貼り付きが発生し、振動・異音の発生および固着に至る可能性があります。
3. 洗車時はブレーキパッドに水を掛ける事を避け、洗車後に長時間駐車する場合は再度車両を走行させてブレーキ操作を行い、ブレーキパッドとブレーキローターの水分を極力除去して下さい。
4. 降雨時の長時間駐車でも状況によって貼り付きおよび振動・異音が発生する場合があります。
5. 再始動時は急発進を避け、慎重な発進操作を行って下さい。
6. 貼り付きおよび振動・異音が発生した場合は、点検を行うかお近くの販売店にご相談下さい。

⚠️ ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に、適合車種の確認を行って下さい。
[適合車種] C I V I C T Y P E R 6 B A - F L 5
3. 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。
4. 純正パーツの取り付け・取り外しは本田技研工業(株)発行のサービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。

次ページに続きます ➡

商品についてのご質問・ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

株式会社 M-TEC 商品事業部

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

【営業時間10:00～17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

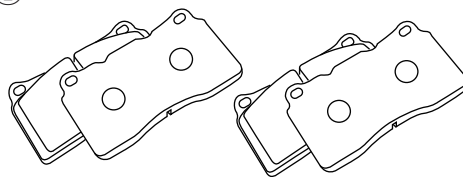
⚠ ご注意

5. 本製品は車種毎にテストを行って適合を設定しておりますので、適合車種以外への取り付けは行わないで下さい。
6. ブレーキは重要保安部品です。交換作業はお近くのホンダカーズおよび認証工場で行って下さい。
交換に伴う不具合により生じた不具合・事故につきましては当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。
※本書の内容は自動車整備士および整備について十分な知識・経験を持った方を対象としております。
経験が無い方のみでの交換作業はケガや事故または走行中の車両トラブルを招く恐れがあり、大変危険ですので絶対に行わないで下さい。
7. ブレーキパッドは衝撃に弱い部品です。取り付け時は落下させるなど、強い衝撃を与えないように注意して下さい。
8. 交換作業を行う際は関連部品を点検し、異常があった際はサービスマニュアルに従って交換または修理を行って下さい。
9. ブレーキパッドの交換直後はブレーキローターとの間に馴染みが出ていない為、一般的に制動力が低下します。馴染むまでは急制動を控え、十分な制動距離を確保して下さい。
10. 本製品は一般的な純正ブレーキパッドに対して制動性能重視の為、ブレーキノイズ（鳴き）、ブレーキダストおよび耐摩耗性能について劣る場合があります。
11. ブレーキパッドは消耗部品です。限度を超えた摩耗状態での使用は危険ですので絶対に止めて下さい。
本製品はウェアインジケータが装着されていない為、目視による定期的な点検が必要です。摩擦材厚み4.0mmを目安に摩耗限度より早めの交換を心掛けて下さい。
※本製品の摩耗限度・・・摩擦材厚み2.0mmまで

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	ブレーキパッド	4
②	取付・取扱説明書	1

①



②

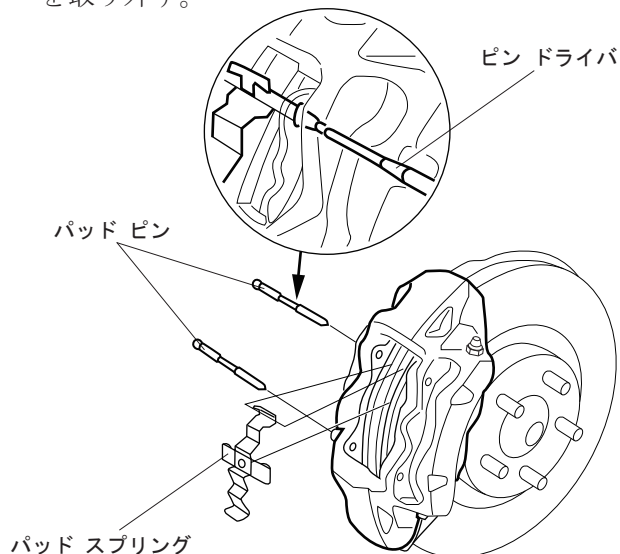
取説

本書本文中の使用部品番号は
構成部品表に準じます。

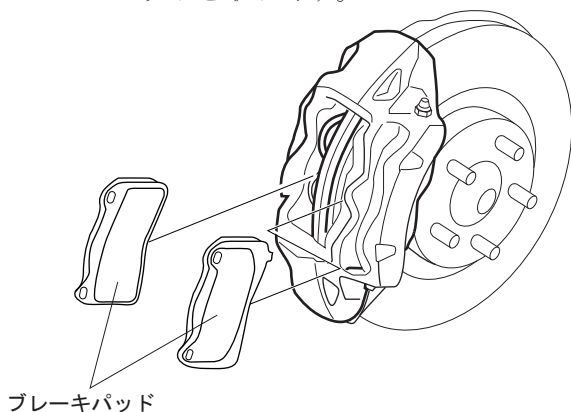
【ブレーキパッドの交換】

I. ブレーキパッドの取り外し

1. 車両をリフトアップまたはジャッキアップする。
(サービスマニュアル参照)
※ジャッキアップの際は、リジトラックを使用し、
車両が安全な状態であることを確認すること。
2. ホイールを取り外し、関連部品に異常がないことを
確認する。
3. ピン ドライバ等を使用し、パッド ピンを軽く打ち
抜き、パッド スプリングを押しながらパッド ピン
を取り外す。

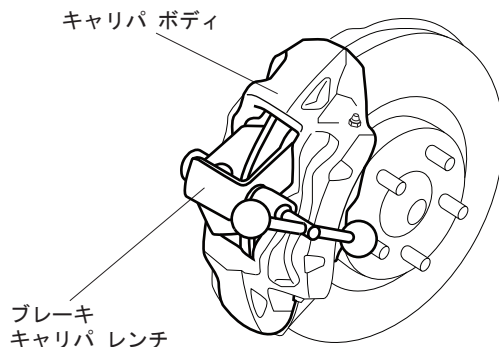


4. ブレーキパッドを取り外す。

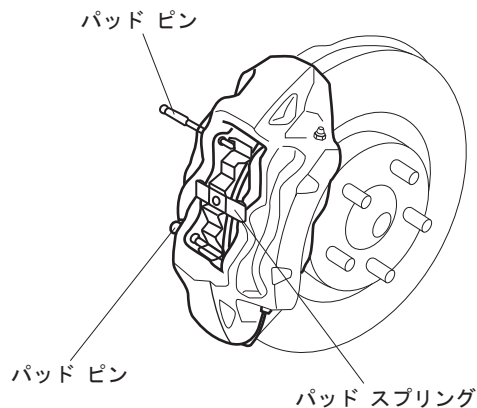


II. 無限ブレーキパッドの取り付け

1. キャリパ ボディを清掃する。
2. ブレーキ キャリパ レンチ (市販工具) を使用し、
ピストンを均等に押し込む。
※マスタ シリンダのリザーバ タンク内のブレーキ
フルード量に注意し、あふれないようにすること。



3. ①ブレーキパッドとパッド スプリングを取り付け、
パッド スプリングを押しながらパッド ピンを取り
付ける。
※パッド ピンが十分に差し込まれているか、プラ
スティックハンマー等を使用して確認すること。
※パッド スプリングがパッド ピン中央の溝に
入っていることを確認すること。



4. ブレーキ ペダルを数回踏んでピストンを押し出す。
※ピストンが戻らない状態で走行した場合、ブレーキ
が作動しないことがある為、十分に注意すること。

Ⅲ. 取り付け後の確認

1. マスタ シリンダのリザーバ タンクのブレーキ フルード量を点検し、必要に応じて補充や交換、エア抜きを行う。
※補充・交換の際は、指定のブレーキ フルードを使用し、液漏れに注意して作業を行うこと。
2. ブレーキ ホースのねじれ、他部品との干渉や液漏れがないことを確認する。
3. ホイールを取り付け、車両を下ろす。
4. ホイール ナットを規定トルクで締め付ける。
※ホイール ナット締め付けトルク：1 2 7 N・m
※本書に記載の注意事項に従い、安全運転を心掛け、定期的に点検を行うこと。